



「人情味」 三宅将太コーチ (平成22年入部)

将太は、私の同級生の北野から紹介を受けてセレクション参加に来ました。

外野手で入部し、1年目の夏前から打撃の調子も良く第35回のクラブ選手権大会では1番DHで出場し1安打、1盗塁と試合は敗れはしたものの結果を残し、OP戦成績ではチームの首位打者となりましたね。

2年目の後半から何を思ったか、投手への転向を希望し、阪神の2軍戦、オリックスの2軍戦で好投しましたが、3年目のクラブ選手1次予選の大阪パシエンスでの登板で四球、安打と乱れ、最後の円陣では涙を流しながら謝罪する姿に選手たちは奮起し、3度目の全国出場を果たし準優勝と、今でこそクラブチーム内で押しも押されもせぬ存在になったのは、将太の「悔し涙から始まった」と言っても過言ではありません。

その後、野手に戻りプレーを続けH26年には再びOP戦成績で首位打者と活躍をしてくれましたが、H27年から、投手コーチとして日本一に導いてくれました。

H28年、H29年は野手コーチで指導にあたり、選手で5年間、コーチで3年間と本当に頑張ってくれました。

何時も後輩たちからも慕われ、「涙もろく人情味あふれる人間」で、私も将太には本当に助けられました。

また、普段は、お洒落をしてハンチング帽を被り後輩達を引き連れて繁華街に消える姿をみて「粋な男」の背中を見させていただきました。

これからの長い人生色んなことがあると思いますが、「人情味あふれる姿勢」で取り組みばきっと色んな人が助けしてくれると思います。

また、何か困ったことがあれば遠慮なしで言って下さい。
本当にご苦労様でした。ありがとう！！